

項目	審議事項	第1回 (H29. 6. 8)	第2回 (H29. 6. 15) ※第1WG と合同開催	第3回 (H29. 7. 6)	第4回 (H29. 7. 20)	第5回 (H29. 8. 3)	第6回 (H29. 8. 31)	第7回 (H29. 9. 7)	審議状況
I 調査票情報等の二次的利用	1 調査票情報等二次的利用の活用推進			○					【審議結果】基本的な考え方を一部修正 (主な意見) ・オーダーメイド集計について、利用者に対し具体例を提示するなど透明性の向上が必要
	2 オンサイト施設、データ・アーカイブの取組								
II 事業所母集団DBの整備	1 事業所母集団データベースの整備の方向性		○						【審議結果】基本的な考え方を一部修正 (主な意見) ・法人企業統計の母集団情報と事業所母集団DBとのかい離の要因把握については、企業属性を明らかにする必要
	2 母集団情報の提供・統計の作成								
III 統計を取り巻く環境の改善	1 統計リテラシーの向上	△							【審議結果】引き続き審議 (主な意見) ・データ・リテラシーについて、「官・学」の取組に、「民」の参加を求めるよう工夫が必要
	2 e-Statの利便性向上	△				◎		【審議結果】基本的な考え方を一部修正の上、了承	
	3 報告者の理解増進・公平感の確保								
IV 国際協力及び国際貢献の推進	1 国際機関に対する統計情報の提供状況の把握・充実		○						【審議結果】基本的な考え方を一部修正 (主な意見) ・国際動向と、日本の対応状況は統計委員会に還元し、統計委員会でも議論することが必要
	2 国際的に定められた方法等の導入等国際比較可能性の向上								
V 統計リソース（人員・予算）の確保・統計職員の育成	1 国・地方公共団体の統計リソースの確保								
	2 地方公共団体への支援								
	3 統計職員の人材育成	△			△				【審議結果】引き続き審議 (主な意見) ・実査の知見を有する者、分析の知見を有する者、色々なタイプの人材が必要で、お互いに連携することが必要
	4 統計に共通する課題の研究等	△							【審議結果】引き続き審議 (主な意見) ・外部の研究機関との連携も図り、より高度な研究を実施することが必要
	5 災害発生時等の備え	△			△				【審議結果】引き続き審議 (主な意見) ・災害発生時の対応指針に、災害に伴い新たに発生する事務への対応といった内容も盛り込むことが必要
VI 統計の精度向上・効率化	1 オンライン調査の導入、民間事業者の活用					△ (民間事業者の活用のみ)			【審議結果】引き続き審議 (主な意見) ・複数年契約の導入を進めることが必要
	2 行政記録情報・ビッグデータの活用					△			【審議結果】引き続き審議 (主な意見) ・民間がデータ提供するに当たっては情報保護に留意する必要
	3 統計調査の調査客体の負担軽減				△				【審議結果】引き続き審議（5統計ニーズの把握と併せて） (主な意見) ・ユーザーのニーズや報告者の声は、期間を定めて把握するよりも、随時把握するほうが効果的
	4 表章区分の整理・標準化	△							【審議結果】引き続き審議 (主な意見) ・統計間の比較可能性を向上させるため、ユーザーのニーズも踏まえた検討が必要
	5 統計調査の精度向上の取組・事後検証の導入・統計棚卸し・統計ニーズの把握				△ (統計ニーズの把握のみ)				※「VI3統計調査の調査客体の負担軽減」と併せて審議

※1 「◎」は確定、「○」は一部修正（座長一任）、「△」は継続審議。
2 統計改革の動向等を踏まえて、適宜修正。